

チーム名	トレジャーハンター	大学・学部	甲南女子大学・日本語日本文化学科	大阪ステージ 本選出場
プラン名称	電動自転車で巡る大阪てっぺん女子旅プラン♪			
リーダー名	岩本智子	テーマ	新しい大阪の魅力創造による「観光まちづくりプラン」 ※選択したキーワードに○をつけてください。(複数可) (○)「大阪の食」()「スポーツツーリズム」()「水辺」	大阪商工会議所会頭賞 受賞
指導教職員名	前田雅裕			
メンバー名	新保希望・梅谷奈実			

◎問題と現状

マイナス面

- ・交通の便が悪く、能勢町へ向かうバスが1時間に1本しかない。
- ・駐車場や公共トイレが少なく、観光客には不便さを感じる。
- ・ターゲット層が定まっていない。

プラス面

- ・価値のある観光資源が多い。
(例) 能勢浄瑠璃・長谷の棚田・妙見山など
- ・電動自転車が500円でレンタル可能である。
- ・おしゃれなカフェが充実している。
- ・大阪・神戸、京都市内から1時間で行ける。

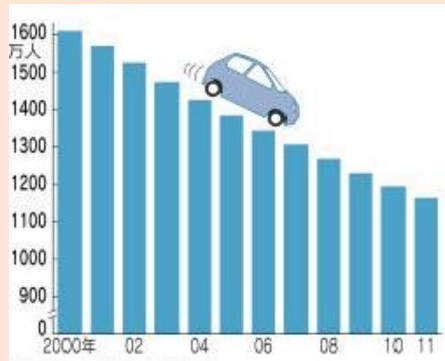


⇒非日常感を味わえる

「**電動自転車で巡る大阪てっぺん女子旅プラン♪**」を提案

◎企画背景

- ・免許をもっている若者が年々減少している(下図参照)



特に、兵庫・大阪・京都は都道府県別ランキングで40位以下と特に免許取得率が低い。
(参考: 都道府県別統計とランキングで見る県民性/警視庁 運転免許証統計2010)

・おしゃれなカフェが能勢町には多いことや、既存のパンフレットが女性受けしやすそうなものであったことから**ターゲットは女性**に絞った。

・「パワースポット」「環境にやさしい旅行」などの旅行スタイルは、他世代に比べて20代の参加意向が高い。(参考: 財団法人日本交通公社『旅行者動向2010』)



◎具体的なプラン

能勢町に設置されているレンタルサイクル貸出所が2か所であることから、2種類の自転車コースを提案する。自転車なので観光客独自のルートで楽しむことも♪

A: アクティブコース(西側)

能勢電鉄「山下駅」下車⇒阪急バス「平野口」下車



美しい田園風景からパワーをもらいながら、能勢の文化や特産品を実際に体験してもらうコース。春はいちご狩り、秋は栗拾いと四季折々の能勢を楽しめる。

B: リフレッシュコース(東側)

能勢電鉄「妙見口」下車⇒阪急バス「稲地」下車



大けやきを中心としたパワースポットメインのコース。心身共にリフレッシュできること間違いなし!

◎実現計画

行政の予算に頼らない観光振興

行政の資金援助は長くて2~3年で終了するため、補助金のある期間に儲かる事業を仕立てあげ、「自立出来る事業の推進」を図る。

アクセスの宣伝

今までなかった「具体性のある観光案内」を作成する。

(例)「現地での交通がわからない」

- ①「路線バス」を利用したモデルコースを「時間明記」で2~3コース作成。
- ②「電動貸切自転車」のレンタル場所・価格を積極的に紹介。また予約制を導入することで、効率よく利用者が使えるような工夫を行う。
- ③「能勢町内1日乗り放題バス乗車券」の発券(能勢電車/山下駅・妙見口駅発着)

◎期待される効果

大阪市に偏っている観光客の分散化

大阪府の観光スポットは大阪城やユニバーサル・スタジオ・ジャパンといった定番スポットに偏っている。観光客を分散化させることで、より効率よく観光客が大阪を満喫することができるのではないか。

SNSによる口コミでさらなる告知効果

女性を対象に実施した「女性の旅行と情報収集についての調査」によると、「SNSの発信をしたいので話題の場所に行ったことがある」という人は5.3%、特に20代は11.2%と高く、SNSが旅行のきっかけにもなっている。(参考: JTB総合研究所 2014)

右の図を見ると、若ければ若いほどSNS利用率が高いことがわかる(参考: Nielsen Mobile NetView)

